

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 360 事業名 動物保護管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		狂犬病予防費	
	大事業		狂犬病予防事業	
	事項		動物保護管理事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	1	生活衛生対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	生活保健課	辻 晃至 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
	市民に対し、犬猫による人の生命、身体又は財産に対する危害を防止すると共に、犬猫を保護し適切な飼育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・係留義務に違反した飼い犬の収容 ・犬猫の引取り ・負傷した犬猫の保護・治療 ・収容した犬猫の飼育管理・返還・処分・譲渡 ・犬猫に関する苦情・相談の処理（適正な飼育の指導や取り締まり等） ・動物取扱業の登録等 ・特定動物の飼養又は保管の許可等 ・学校における動物愛護教室（命の大切さ等を教育） 				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		負傷犬猫保護数（92） 猫引取り数（595） 小学校への出前事業（わうくらす）：26回	負傷犬猫保護数（77） 猫引取り数（612） 保護した犬：144頭 飼主から引き取った犬：73頭 返還した犬：45頭 譲渡した犬：14頭 小学校への出前事業（わうくらす）：31回 平成22年度より犬舎管理事業と統合しています。	負傷犬猫保護数（73） 猫引取り数（623） 保護した犬：169頭 飼主から引き取った犬：78頭 返還した犬：63頭 譲渡した犬：30頭 小学校への出前事業（わうくらす）：42回		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	294	257	5,714	5,571	20,176	19,675	20,304		20,304		
	伸び率 (%)	-	-	1843.5%		253.1%		0.6%		0.0%		
	人件費	常勤職員	7,444	6,919	10,377	7,697	7,697	7,350	7,350		7,350	
		非常勤職員	1,746	1,982	2,871	2,466	2,466	2,466	2,466		2,466	
		小計	9,190	8,901	13,248	10,167	10,167	9,816	9,816		9,816	
	国庫支出金											
	県支出金		25	5	5	5	5	5	5		5	
	市債											
その他	410	232	546	215	810	1,029	1,332		1,332			
一般財源（税等）	-116		5,163	5,351	19,361	18,641	18,967		18,967			
所要人数	常勤職員	0.97	0.9	1.35	1.02	1.02	0.97	0.97		0.97		
	非常勤職員	0.85	1.02	1.5	1.01	1.01	1.01	1.01		1.01		

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	飼主からの犬及びねこの引取り数				年度目標値	125	115	105	95	85
					実績値	157	109	105		
	単位	頭（匹）	全体目標値	85	全体目標達成度	81.0%	年度別達成度	79.6%	105.5%	100.0%
	小学校への出前事業（わうくらす）回数				年度目標値	38	40	42	44	46
					実績値	26	31	42		
成果指標	猫の引取り数				年度目標値	580	560	540	520	500
					実績値	595	612	623		
	単位	匹	全体目標値	500	全体目標達成度	71.8%	年度別達成度	97.5%	91.5%	86.7%
	保護（負傷犬を除く）及び引き取られた犬の頭数				年度目標値	190	180	170	160	150
					実績値	213	217	247		
	単位	頭	全体目標値	150	全体目標達成度	60.8%	年度別達成度	89.2%	82.9%	68.8%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	人と動物が共生できる社会を形成するには、事業の継続が必要である。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	